

## ～臨床情報の研究利用に関するお知らせ～

『研究課題名 双胎間輸血症候群(TTTS)既往児を含む双胎児の未熟児網膜症(ROP)発症、重症化に関連する因子の検討』

研究機関名 東邦大学医療センター大森病院

研究責任者 眼科 職位・氏名 准教授 松本 直

### 【情報の利用目的】

不妊治療の増加に伴い、多胎妊娠の確率は増加しています。多胎妊娠の重大な合併症である双胎間輸血症候群(TTTS)は一絨毛膜性双胎妊娠の10～15%に発生するとされます。取得した情報はTTTSが未熟児網膜症(ROP)の発症と重症化に与える影響を検討することを目的とした研究に利用します。

この研究で得られる成果は、TTTSを含めた双胎におけるROP発症の危険因子を特定することは、ROPスクリーニングの向上につながります。

### 【他機関への提供】

他機関への提供は行いません。

### 【研究に用いられる情報】

TTTS 病期分類、TTTS 治療法、レーザー施行時の胎齢、帝王切開分娩、性別、在胎週数、出生体重、受血児/供血児状態、ROP 初診週数、ROP 発症週数、ROP 発症までの期間、ROP 病期、ROP 治療週数、修正 54 週での状態(予後)、出生時ヘモグロビン値(g/dL)、赤血球輸血回数、人工呼吸管理期間(日数)、出生後コルチコステロイド投与、敗血症、動脈管開存症の有無、1分および5分時点の中央値アプガースコア、脳出血の程度

研究に利用する情報は、患者さんのお名前、住所など、個人を特定できる情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できる情報を報告・公開することはありません。

### 【情報の利用または提供を開始する予定日】

2026年1月より利用を開始します。

### 【情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名】

東邦大学医療センター大森病院 病院長 酒井 謙

### 【情報の取得方法】

対象者:2009年4月～2025年10月までに東邦大学医療センター大森病院

眼科において、新生児科入院中にROPの診療を受けた双胎児の方

方法:診療録(カルテ)から抽出したデータを解析します。

### 【研究組織】

代表施設名:東邦大学医療センター大森病院\_研究代表者:松本 直 役職:准教授

**【利用する者の範囲】**

東邦大学医療センター大森病院

眼科 松本 直、堀 裕一、松村 沙衣子、伏屋 恵子

婦人科 鷹野 真由美

新生児科 渡邊 愛、日根 幸太郎

**【情報の管理について責任を有する者の名称】**

東邦大学医療センター大森病院\_研究代表者： 松本 直 役職： 准教授

本研究に関してご質問のある方、情報を研究に利用することを承諾されない方は、2026 年 3 月 31 日までに下記へご連絡下さい。申し出のあった方の情報は、利用や他の研究機関への提供を行いません。その場合でも、患者様に不利益になることはありません。

**【連絡先および担当者】**

東邦大学医療センター大森病院 眼科

職位・氏名 准教授 松本 直

電話 03-3762-4151 内線 6710